

平成 19 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社デジタルガレージ
 代 表 者 名 代表取締役 CEO 林 郁
 (J A S D A Q ・ コード 4 8 1 9)
 (URL http://www.garage.co.jp/)
 問 い 合 せ 先 取 締 役 経 営 管 理 本 部 長
 櫻 井 光 太
 T E L 0 3 - 5 4 6 5 - 7 7 4 7

個別中間財務諸表における特別損失の発生、 及び平成 19 年 6 月期中間業績予想の修正に関するお知らせ

この度、当社において、下記のとおり、特別損失が発生いたしましたので、その概要をお知らせするとともに、平成 19 年 6 月期（平成 18 年 7 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日）の業績予想について、平成 18 年 8 月 28 日付当社「平成 18 年 6 月期 決算短信（連結）」及び同日付当社「平成 18 年 6 月期 個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 個別中間財務諸表における特別損失の発生及びその内容

当社において、連結子会社に対する投資有価証券および貸付金の一部を評価減したこと等により、個別中間財務諸表におきまして特別損失 141 百万円を計上いたしました。

なお、これは当社と連結子会社間取引により発生したものであるため、中間連結財務諸表に与える影響はございません。

2. 平成 19 年 6 月期 連結業績予想の修正等

(1) 中間期(平成 18 年 7 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 予 想 (A)	7,600	800	10
今 回 修 正 (B)	7,601	938	68
増 減 額 (B A)	1	138	58
増 減 率	0.0%	17.3%	582.2%

(2) 修正理由

売上高はほぼ予想通りでありましたが、グループ内事業統合の結果として、販売費及び一般管理費が削減でき、ならびに借入金の圧縮に努めた結果、営業外収支が改善できたことにより、経常利益は 800 百万円の予想から、138 百万円（17.3%）増加し、938 百万円となる見通しです。

これにより、持分変動損失等の特別損失を吸収し、中間純利益は 10 百万円の予想から 68 百万円と 58 百万円（582.2%）増加する見通しです。

(3) 通期(平成 18 年 7 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)

通期の業績予想につきましては、平成 18 年 8 月 28 日付で公表いたしました業績予想に変更はございません。

(4) ご参考：前期の実績(平成 17 年 7 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期 (7/1～12/31)	4,296	249	433
通期 (7/1～6/30)	12,476	1,505	338

3. 平成 19 年 6 月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間期(平成 18 年 7 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	220	280	170
今回修正 (B)	233	106	121
増減額 (B-A)	13	173	48
増減率	6.1%	-	-

(2) 修正理由

売上高はほぼ予想通りでありましたが、当社と子会社における経費の負担額について見直したことで、および借入金の圧縮に努めた結果、営業外収支が改善できたことにより、経常利益は 280 百万円の予想から、106 百万円に 173 百万円改善する見通しです。

一方で、上記の通り特別損失を計上いたしました。これらを吸収し、中間純利益は 170 百万円の予想から、121 百万円に 48 百万円改善する見通しです。

(3) 通期(平成 18 年 7 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)

通期の業績予想につきましては、平成 18 年 8 月 28 日付で公表いたしました業績予想に変更はございません。

(4) ご参考：前期の実績(平成 17 年 7 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期 (7/1～12/31)	500	115	53
通期 (7/1～6/30)	640	303	156

以上

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。